

	名称	種別	管理濃度	主な有害性	類型*2	特別管理*1
1	ジクロルベンジジン及びその塩	第1類物質	－	膀胱がん	－	○
2	アルファ-ナフチルアミン及びその塩		－	発がん性有、泌尿器系障害	－	○
3	塩素化ビフェニル（別名PCB）		0.01 mg/m <sup>3</sup>	皮膚障害、肝臓障害	－	
4	オルト-トリジン及びその塩		－	発がん性有、泌尿器系障害	－	○
5	ジアニシジン及びその塩		－	発がん性有、泌尿器系障害	－	○
6	ベリリウム及びその化合物		Beとして 0.001 mg/m <sup>3</sup>	呼吸困難、肺肉芽腫等	－	○
7	ベンゾトリクロリド		0.05 ppm	皮膚刺激性、白血病症状等	－	○
8	1～6までに掲げる物をその重量の1%を超えて含有し、又は7に掲げるものをその重量の0.5%を超えて含有する製剤その他の物（合金にあっては、ベリリウムをその重量の3%を超えて含有するものに限る。）					
1	アクリルアミド	第2類物質	0.1 mg/m <sup>3</sup>	皮膚障害、神経障害	特定第2類	
2	アクリロニトリル		2 ppm	神経系、皮膚障害等	特定第2類	
3	アルキル水銀化合物（アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限る）		Hgとして 0.01 mg/m <sup>3</sup>	中枢神経系の障害、皮膚障害	管理第2類	
3の2	インジウム化合物		－	発がん性のおそれ、間質性肺炎等	管理第2類	○
3の3	エチルベンゼン		20 ppm	発がん性のおそれ、肝機能障害等	特別有機溶媒等	○
4	エチレンイミン		0.05 ppm	皮膚障害、呼吸器障害等	特定第2類	○
5	エチレンオキシド		1 ppm	発がん性、眼・皮膚障害等	特定第2類	○
6	塩化ビニル		2 ppm	麻酔、肝がん等	特定第2類	○
7	塩素		0.5 ppm	呼吸困難、皮膚炎症	特定第2類	
8	オーラミン		－	膀胱がん	オーラミン等	○
8の2	オルト・トルイジン		－	膀胱がん、眼刺激	特定第2類	○
9	オルト-フタロジニトリル		0.01 mg/m <sup>3</sup>	頭痛、嘔吐、けいれん発作	管理第2類	
10	カドミウム及びその化合物		Cdとして 0.05 mg/m <sup>3</sup>	気管支炎、肺気腫	管理第2類	
11	クロム酸及びその塩		Crとして 0.05 mg/m <sup>3</sup>	皮膚炎、肺がん等	管理第2類	○
11の2	クロロホルム		3 ppm	麻酔性、肝・腎障害等、発がん性	特別有機溶媒等	○
12	クロロメチルメチルエーテル		－	肺気腫、肺がん（疑）等	特定第2類	○
13	五酸化バナジウム		Vとして 0.03 mg/m <sup>3</sup>	呼吸困難、皮膚障害等	管理第2類	
13の2	コバルト及びその無機化合物		0.02 mg/m <sup>3</sup>	発がん性のおそれ、呼吸器障害等	管理第2類	○
14	コールタール		ベンゼン可溶性成分として 0.2 mg/m <sup>3</sup>	皮膚炎、光過敏症、肺がん	管理第2類	○
15	酸化プロピレン		2 ppm	眼、上気道、皮膚障害等	特定第2類	○
16	シアン化カリウム		CNとして 3 mg/m <sup>3</sup>	中枢神経麻痺	管理第2類	
17	シアン化水素		3 ppm	絞皮吸入、猛毒	特定第2類	
18	シアン化ナトリウム		CNとして 3 mg/m <sup>3</sup>	嘔吐、呼吸麻痺	管理第2類	
18の2	四塩化炭素		5 ppm	肝・腎障害、消化器障害等、発がん性	特別有機溶媒等	○
18の3	1,4-ジオキサン		10 ppm	中枢神経障害、肝・腎障害、発がん性	特別有機溶媒等	○
18の4	1,2-ジクロロエタン（別名二塩化エチレン）		10 ppm	呼吸器障害、皮膚障害等、発がん性	特別有機溶媒等	○
19	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン		0.005 mg/m <sup>3</sup>	血尿、肝臓がん（動物）	特定第2類	○
19の2	1,2-ジクロロプロパン		1 ppm	胆管がん	特別有機溶媒等	○
19の3	ジクロロメタン（別名二塩化メチレン）		50 ppm	麻酔性、発がん性のおそれ	特別有機溶媒等	○
19の4	ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト（DDVP）		0.1 mg/m <sup>3</sup>	発がん性、呼吸困難等	特定第2類	○
19の5	1,1-ジメチルヒドラジン		0.01 ppm	眼、上気道刺激症状、肝障害	特定第2類	○
20	臭化メチル		1 ppm	神経障害、経皮吸収等	特定第2類	
21	重クロム酸及びその塩		Crとして 0.05 mg/m <sup>3</sup>	鼻中隔穿孔、肺がん等	管理第2類	○
22	水銀及びその無機化合物（硫化水銀を除く）		Hgとして 0.025 mg/m <sup>3</sup>	中枢神経系障害、腎障害	管理第2類	
22の2	スチレン		20 ppm	皮膚障害、多発性神経炎、発がん性	特別有機溶媒等	○
22の3	1,1,2,2-テトラクロロエタン（別名四塩化アセチレン）		1 ppm	麻酔性、肝・腎障害等、発がん性	特別有機溶媒等	○
22の4	テトラクロロエチレン（別名パークロルエチレン）		25 ppm	麻酔性、皮膚・肝・腎障害等、発がん性	特別有機溶媒等	○
22の5	トリクロロエチレン		10 ppm	皮膚炎、貧血、肝障害等、発がん性	特別有機溶媒等	○
23	トリレンジイソシアネート		0.005 ppm	呼吸器障害、眼・視力障害等	特定第2類	
23の2	ナフタレン		10 ppm	溶血性貧血、発がん性	特定第2類	○
23の3	ニッケル化合物（24に掲げる物を除き、粉状の物に限る）		Niとして 0.1 mg/m <sup>3</sup>	肺がん、鼻腔がん等	管理第2類	○
24	ニッケルカルボニル		0.001 ppm	中枢神経障害、呼吸器障害	特定第2類	○
25	ニトログリコール		0.05 ppm	中枢、末梢神経障害、血管等障害	管理第2類	
26	パラ-ジメチルアミノアソベンゼン		－	泌尿器系障害、発がん性のおそれ	特定第2類	○
27	パラ-ニトロクロルベンゼン		0.6 mg/m <sup>3</sup>	中枢神経障害、血管等障害	特定第2類	
27の2	砒素及びその化合物（アルシン及び砒化ガリウムを除く）		Asとして 0.003 mg/m <sup>3</sup>	消化器障害、知覚異常等	管理第2類	○
28	弗化水素		0.5 ppm	呼吸器障害、眼障害、皮膚障害等	特定第2類	
29	ベータ-プロピオラクトン		0.5 ppm	呼吸器障害、皮膚障害	特定第2類	○
30	ベンゼン		1 ppm	中枢、末梢神経障害、造血系障害	特定第2類	○
31	ペンタクロルフェノール（別名PCP）及びそのナトリウム塩		PCPとして 0.5 mg/m <sup>3</sup>	呼吸器障害、消化器障害等	管理第2類	
31の2	ホルムアルデヒド		0.1 ppm	呼吸器障害等、発がん性	特定第2類	○
32	マゼンタ		－	泌尿器系障害	オーラミン等	○
33	マンガン及びその化合物（塩基性酸化マンガンを除く）		Mnとして 0.2 mg/m <sup>3</sup>	呼吸器障害、中枢神経障害	管理第2類	
33の2	メチルイソブチルケトン		20 ppm	皮膚障害、麻酔性、発がん性	特別有機溶媒等	○
34	沃化メチル		2 ppm	中枢神経障害、皮膚障害	特定第2類	
34の2	リフラクトリーセラミックファイバー		5μm以上の繊維として 0.3 本/cm <sup>3</sup>	皮膚炎、発がん性、呼吸器へ影響	管理第2類	○
35	硫化水素		1 ppm	呼吸器障害、中枢神経障害等	特定第2類	
36	硫酸ジメチル		0.1 ppm	呼吸器障害、眼、皮膚障害	特定第2類	
37	1から36までに掲げる物を含有する製剤その他の物で、厚生労働省令で定めるもの（14、16、18、27、28 号については5%、それ以外については1%を超えるものが該当。）					
1	アンモニア	第3類物質	－	肺水腫、皮膚等に対する強い刺激、腐食性		
2	一酸化炭素		－	血中ヘモグロビン結合による酸素欠乏		
3	塩化水素		－	眼・皮膚炎、肺水腫		
4	硝酸		－	激しい薬傷、歯牙酸食、肺水腫		
5	二酸化硫黄		－	歯牙酸食・気管支炎、胃腸障害等		
6	フェノール		－	薬傷、不眠症、肺水腫等		
7	ホスゲン		－	猛毒、呼吸中枢の刺激で肺胞まで侵す		
8	硫酸		－	歯牙酸食、肺炎、肺水腫等		
9	1から8までに掲げるものを含有する製剤その他の物で、厚生労働省令で定めるもの（6号については5%、それ以外については1%を超えるものが該当。）					

\*1 特定化学物質とは

第1類物質と第2類物質のうち、がん原性物質またはその疑いのある物質であり、これらを取り扱う場合は、名称、注意事項などの掲示や健康診断の受診、一月ごとの作業記録などが求められる。

\*2 特定第2類、管理第2類、特別有機溶剤等、オーラミン等の区分について

第2類物質のうち、特に漏えいに留意すべき物質を「特定第2類物質」、発がん性のおそれが指摘されるもので有機溶剤と同様に作用し、蒸気による中毒を発生させるおそれがあるものを「特別有機溶剤等」、尿路系器官にがん等の腫瘍を発生するおそれのある物質を「オーラミン等」、それ以外を「管理第2類物質」と区別している。